

ニッケイ俳壇

(730)

星野 瞳 選

ブルナンテ
エス生誕布令来て三王囃子かな

野村いさを

三角帽に獸面もつて二王祭

剣を擊つ三王囃子たけなわに

道化師の子役もはしやげ三王祭

立合つた三懷士(三王)浮かれ神とも呼ばれる者達がこの日樂を鳴らし家々をにぎやかに廻り来てブラジルに古くからあるサント・レイスは今でも地方では行われているのである。

北海道旭川市
米寿春いのちたまわり祝餅
受け継ぎし雑煮の味も確かな
豪雪を掃く男子らの息弾む
○日本で一番の豪雪地だと聞く地方旭川より、
今年もお年始を頂いた。お年玉に5ドル札が入つていた。作者は米寿を迎えたがお元気だ。おめでたい。

アチバイア
松川 幸三

両瀬 辰江

病妻の臥して見上げる晦日花火
サンジョセドスカンボス

父の忌の過ぎ日のお記取り出しう
喪に服する家には状況出さず置き

日記帳子が買ひ戻し年の暮れ夏館映して湖の静もれる

日の余熱来客待ちて水を打つ
夏の川日輪呑みで輝けり

藍深き趣の重じや七変化
病妻の臥して見上げる晦日花火

カノボグラニテ
青木 駿浪

池田 洋子

北伯の海原で挙む初日に出食へ疲れ眠り呆けの日永旅

身に沁むやクリチーハは風の町
カボガラニテ

避暑の宿白樺林に見えかくれ
せせらぎの音に和え避暑の宿

信濃路の青木峰の避暑の旅
名古屋弁丸出し爺よ避暑隣り

アルバスマッシュヤド
立沢 節子

子等の幸祈りで聞けり除夜の鐘
いそいそと杖をつき初句会

にこやかに挨拶交す初句会
扇風機かけて团扇は使われず

サバウロ
田中 独行

退りつつ眺めすかして桃摘果
夏日射し除けて坐るバスの席

かぞえれば八千六回年の暮れ
家族中晴着で過ぐすお正月

サンバウロ
半田 久夫

鳳凰樹少し退つて写真とる
リベロンピース

中馬 淳一

退りつつ眺めすかして桃摘果
夏日射し除けて坐るバスの席

かぞえれば八千六回年の暮れ
家族中晴着で過ぐすお正月

サンバウロ
森西 茂行

ギヤマンの透ゆる軒下夏陽さし
ヤマハの透ゆる軒下夏陽さし

アチハイア
宮原 育子

背泳のブール虹正面に仰ぎけり
蛇年や花名荷摘む手の先に

炎天下ツクナレを釣る尾鱗跳ね
三年を伸ひよと栗の苗を植う

トメアス
茶柱の子に立ち入学試験今日

峰村マダレナ

アチハイア
三宅 昭子

吉田 繁

アチバイア

吉田 繁

百姓の仕事始めの草を取る
サンバウロ

杉本 緑一

野母の摘むには惜しき紅の色
雨に濡れ風にとぼされ落し文

サンバウロ

山本 紀未

改まる心に初日拂みけり
夢抱いていつしか卒寿夢百合草

サンバウロ

渡部 チ工

振舞ひの三千杯の雑煮かな
新人増え和氣藹々の初句会

アチバイア

栗山みき枝

遠い子に思ひ馳せつす年用意
トンネルの向うにはないマナ力咲く

サンバウロ

吉田 繁

筆始め金の一と文字大きく書き
筆始め金の一と文字大きく書き

青柳 ます

先すパーーマ当てる母娘の年用意
ユカリは天まで伸びて初の空

ジョンデバー口の巣造りを見て一と日暮れ
鹿島 和江

大勢の友に閉まれ還暦祝う
父親ゆづりの赤い袖なし

杉本 鶴代

かつて、神戸で阪神淡路
被災地を參し続ける。声高

青柳 房治

したいという思いが伝わつ
む。別荘となるにからむわい。

タペチの山削られて夏日に
いざれも、昨年の東日本

大震災の後で詠まれた句で
赤し

藤田朝日子

先す手に閉まれ還暦祝う
ある。

内谷 美保

かつて、神戸で阪神淡路
被災地を參し続ける。声高

青柳 房治

したいという思いが伝わつ
む。

タペチの山削られて夏日に
いざれも、昨年の東日本

大震災の後で詠まれた句で
赤し

藤田朝日子

先す手に閉まれ還暦祝う
ある。

内谷 美保

かつて、神戸で阪神淡路
被災地を參し続ける。声高

青柳 房治

したいという思いが伝わつ
む。

タペチの山削られて夏日に
いざれも、昨年の東日本

大震災の後で詠まれた句で
赤し

藤田朝日子

先す手に閉まれ還暦祝う
ある。

内谷 美保

かつて、神戸で阪神淡路
被災地を參し続ける。声高

青柳 房治

したいという思いが伝わつ
む。

タペチの山削られて夏日に
いざれも、昨年の東日本

大震災の後で詠まれた句で
赤し

藤田朝日子

先す手に閉まれ還暦祝う
ある。

内谷 美保

かつて、神戸で阪神淡路
被災地を參し続ける。声高

青柳 房治

したいという思いが伝わつ
む。

タペチの山削られて夏日に
いざれも、昨年の東日本

大震災の後で詠まれた句で
赤し

藤田朝日子

先す手に閉まれ還暦祝う
ある。

内谷 美保

かつて、神戸で阪神淡路
被災地を參し続ける。声高

青柳 房治

したいという思いが伝わつ
む。

タペチの山削られて夏日に
いざれも、昨年の東日本

大震災の後で詠まれた句で
赤し

藤田朝日子

先す手に閉まれ還暦祝う
ある。

内谷 美保

かつて、神戸で阪神淡路
被災地を參し続ける。声高

青柳 房治

したいという思いが伝わつ
む。

タペチの山削られて夏日に
いざれも、昨年の東日本

大震災の後で詠まれた句で
赤し

藤田朝日子

先す手に閉まれ還暦祝う
ある。

内谷 美保

かつて、神戸で阪神淡路
被災地を參し続ける。声高

青柳 房治

したいという思いが伝わつ
む。

タペチの山削られて夏日に
いざれも、昨年の東日本

大震災の後で詠まれた句で
赤し

藤田朝日子

先す手に閉まれ還暦祝う
ある。

内谷 美保

かつて、神戸で阪神淡路
被災地を參し続ける。声高

青柳 房治

したいという思いが伝わつ
む。

タペチの山削られて夏日に
いざれも、昨年の東日本

大震災の後で詠まれた句で
赤し

藤田朝日子

先す手に閉まれ還暦祝う
ある。

内谷 美保

かつて、神戸で阪神淡路
被災地を參し続ける。声高

青柳 房治

したいという思いが伝わつ
む。

タペチの山削られて夏日に
いざれも、昨年の東日本

大震災の後で詠まれた句で
赤し

藤田朝日子

先す手に閉まれ還暦祝う
ある。

内谷 美保

かつて、神戸で阪神淡路
被災地を參し続ける。声高

青柳 房治

したいという思いが伝わつ
む。

タペチの山削られて夏日に
いざれも、昨年の東日本

大震災の後で詠まれた句で
赤し

藤田朝日子

先す手に閉まれ還暦祝う
ある。

今年の1月から開かれ、日本語で元気に発表するセミナーが、日本語学校、ボランティアによる講演会で、多くの生徒たちが参加しました。地区への遠足、サンタスームへの訪問など、日々思い出を語り合いました。

107人が友情育む

4日間のプログラムをこなした。18日に聖市(北海道)にて主催の「第14回日本語で元気なセミナー」が無事終了した。

本語ふれあいセミナーは、各グループで感想文を作成し、最後の日本語学校、ボランティアによる講演を行った。

スピーチを行った。スピーチを行った。スピーチを行った。

「今日はセミナーも最後。あの楽しかった日々を思い出したいと思

ます」と力強く話す始

「僕らは五班だから格

ないので少し不安はあつ

たけど、みんな日本語が

凄く上手。問題なくこ

た」と満面の笑顔。

最後の合唱では涙を流す参加者も

いた。歌の発表も行われる。

衣料品や和菓子などの

販売もある。

案内のため来社した

谷口理事長、谷口アルマ

ンド会計は、「今年55周年を迎えることの多いこの年に、今年初となるイベント。皆さん一緒に盛り上がりましょう」と語った。

「出店者の売り上げの一部と出店者の参加費は、運営費に充てられる。

来社した谷口アルマ会計、谷口ジョゼ理事長

が、あえて落選して

いるという。昨年6月か

ら、そんな母親たちの

ために学校の婦人会が日

本語教室を開催し、教師

もボランティアとして指

導に参加、「子供たちと

一緒に楽しめます」と期待を

寄せた。

北里博士も「近年石油

の発掘などで日元を集め

ている海域だが、まだま

い生物がいるかも。非常

に楽しみです」と期待を

寄せた。

北里博士によれば「ブラ

ジル近海は南北両側から

大きな潮流がぶつかる海

域であり、海底でガスが

噴出しているようなところもある。見たこともない生物がいるかも。非常に

安全性で、過去に一度

の事故も起きていないと

いう。北里博士も「近年

海洋研究方に力を入れだ

だと。特筆すべきはそ

の安全性で、過去に一度

の潜行を達成してきたの

だとか。特筆すべきはそ

の安全性で、過去に一度

の潜行を達成してきたの

だとか。特筆

